種名	ア　　ト　　リ Fringilla montifringilla
分類	スズメ目　アトリ科
特徴	冬の水田で大群を作る、橙色の胸と白い腰を持った小鳥。ユーラシア大陸の亜寒帯針葉樹林で広く繁殖し、日本には冬鳥として全国に渡来する。特に西日本で大きな群れが見られるが、個体数は年による変化が大きい。
生活	大陸から渡来したあとの秋から初冬にかけては山地の森林で生活し、群れをなして木の実を食べる。ナナカマド、ズミなど液果も食べるが、カエデ類などの乾果やコメツガなどの針葉樹の種子を好む。越冬期から春先にかけては山麓の雑木林や農耕地に現れ、時には開けた水田地帯で数千羽から数万羽の群れが見られる。群れのまとまりは強く、水田の一部に集中して下り、密集して地上で採餌する。
声	春期に「チッチッピィー、チッチッチッ、ピィー」と木の梢にとまってさえずっているのをを聞くことがある。地鳴きは「キョッキョッキョッ」という声で、大群で鳴きかわしていると、やかましいほどである。
見分け方	白い腰、股状の尾、橙色の胸が特徴。春先には頭の黒い夏羽のオスも見られる。
時期	(月)　1　2　3　4　－　－　－　－　－　10　11　12
その他	全長 (L) 16cm　翼開長 (W) 25cm
	参考文献：山渓カラー名鑑　日本の野鳥